

【黒岩知事】

(2) ワクチン・検査パッケージについて

「ワクチン・検査パッケージ」とは、ワクチン接種歴、あるいは検査の陰性を確認することにより、行動制限の緩和が可能という考え方です。

ワクチン接種が条件となれば、接種できない人・接種しない人が排除されることになりかねません。適用範囲を限定的にし、民間に対しても適用に慎重さを求めることが必要です。

制度を用いる場合には、接種しなくても陰性証明で可能なことを周知し、検査の無料化と受けやすい環境を保障すべきです。

健康上の理由だけではなく、接種をしないという選択についても、同様です。

そこで知事に伺います。ワクチン・検査パッケージの運用においては、差別につながる場合もあることを踏まえ、適用を限定的に行う配慮が必要です。見解を伺います。また、陰性証明が必要な場合は、PCR検査は無条件で無料とすべきです。見解を伺います。

【黒岩知事】

【2】障がい者地域生活支援と県立障害者支援施設のあり方について

(1) グループホーム体制の強化について

「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」では、県立施設を通過型の施設に位置付け、重度の障がい者にも地域生活を可能としていくこと、日中活動を地域で行うこと、通院や外出なども積極的に行うことなどが示されていますが、施設利用者が地域生活をする場合のサービス提供体制は十分ではなく、とりわけ、地域生活の中心となるグループホームの増設は重要です。

県はグループホーム運営のために独自に補助をしていますが、県と市の協調補助のため、市町村が県の補助メニューを活用しなければ、補助が成り立ちません。また、政令市や中核市には県補助の適用がありません。

横須賀市の障がい者団体がグループホームの実態調査を行ったところ、「人材不足」との回答が40件寄せられています。知事は、十分な支援員を配置できる体制を保障すべきです。

そこで知事に伺います。地域によって、グループホームに対する支援の違いが生じています。少なくとも県内では、同一のサービスを受けられるように補助すべきと考えますが、見解を伺います。また、障がい者の地域移行を促進させるために、県の補助制度は政令市、中核市も対象にすべきと考えますが、見解を伺います。

【黒岩知事】